

第3章 保健福祉業務

保健福祉業務は主として、地域住民の健康増進及び保健福祉の向上をめざし、慢性疾患児等の専門的な母子保健業務、歯科保健業務、栄養・食生活対策推進業務及び小児医療援護、母子・父子・寡婦福祉資金の貸付、健康づくり・がん対策、介護保険運営指導を行っている。

1 母子保健

(1) 母子保健委員会

委員会は、厚木保健福祉事務所大和センター及び大和市、綾瀬市が実施する母子保健事業が円滑かつ効果的に行われるために、各種の母子保健事業の課題の検討や実績等の分析評価を行うことにより、管内の母子保健施策の向上を図ることを目的とする。

ア 母子保健委員会

開催年月日・会場	議 題	委員	出席数
令和 7 年 2 月 3 日 大和センター	1 委員長の選出 2 大和センター管内の母子保健の課題 3 令和 7 年度母子保健事業の計画	医師会 行政職員	7

イ 実務担当者会議(厚木保健福祉事務所及びかながわ医療的ケア児支援センター県央圏域ランチ会議と合同開催)

開催年月日・会場	議 題	出席数
令和 6 年 8 月 23 日 大和センター	1 医療的ケア児等の在宅療養支援推進研修の報告 2 県央圏域ランチと厚木保健福祉事務所・大和センターとの連絡会議の報告 3 各関係機関の医療的ケア児支援に関する取り組み・背景についての情報交換	33

ウ 情報交換会(厚木保健福祉事務所と合同開催)

開催年月日	会 議 名	会場	出席数
令和 6 年 5 月 13 日	第 1 回ランチコア会議	大和センター	14
令和 6 年 6 月 10 日	第 2 回ランチコア会議	厚木保健福祉事務所・ オンライン併用	10
令和 6 年 7 月 8 日	第 3 回ランチコア会議	厚木保健福祉事務所・ オンライン併用	14
令和 6 年 9 月 30 日	第 4 回ランチコア会議	オンライン	11
令和 7 年 3 月 18 日	第 5 回ランチコア会議	厚木保健福祉事務所・ オンライン併用	10

(2) 管内母子保健事業連絡会議

大和市・綾瀬市・管内児童相談所の保健師が、地域の母子保健事業を円滑かつ効果的に行い、管内の母子保健施策の向上を図ることを目的に行った。

開催年月日・会場	議 題	出席数
令和 6 年 5 月 29 日 厚木合同庁舎	1 各所属の体制の共有 2 情報交換	19

(3) 妊娠・出産支援体制づくり事業

安心して妊娠・出産ができる環境を地域全体で推進するための体制づくりの一環として、関係機関職員を対象とした連絡会の開催と支援の質の向上を図ることを目的とした事例検討会を開催した。

ア 連絡会議

開催年月日・会場	議 題	出席数
令和6年7月22日 大和センター・ オンライン併用	1 行政と産科医療機関との連携について 2 その他 意見交換	9

イ 研修会及び事例検討会（再掲（7）ウ 養育困難事例検討会）

開催年月日・会場	対 象	内 容	講 師	参加数
令和6年 10月31日 大和センター	管内母子保健及び要 保護児童対策地域協 議会担当保健師等	メンタル面で課題を抱 えている妊産婦と親へ の支援 ～事例検討から学ぶ～	相州病院 医師 寺岡菜穂子	10
令和7年 1月23日 大和センター	管内の分娩施設を有 する産婦人科5か所 の助産師等 管内母子保健及び要 保護児童対策地域協 議会担当保健師等	メンタル面で課題を抱 えている妊産婦の支援 と愛着形成の捉え方 ～事例検討から学ぶ～	相州病院 医師 寺岡菜穂子	10

(4) 性と健康の相談センター事業

プレコブションケア（ ）を含めた、男女を問わず、性と生殖に関するライフステージに応じた切れ目ない健康支援を実施するため、健康相談及び健康教育を実施した。

プレコンセプションケアとは男女や年齢を問わず、将来の妊娠や体の変化に備えて自分たちの健康やライフプランを男女ともに考えていくこと。

ア 健康相談

(ア) 性と健康の相談(旧 生涯を通じた女性の保健相談)(随時相談)

	相談方法 (実)			相談者(延)				相談内容(延)						事後指導(実)		
	電	面		本	保	そ	配	妊	不	メンタルケア	婦	性	そ	助	受	そ
	話	接		人	護	の	偶	娠	妊		人	感	の	言	診	の
					者	他	者				科	染	他		奨	他
男	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
女	3	3	0	2	0	1	0	2	1	0	0	0	0	3	0	0
総数	3	3	0	2	0	1	0	2	1	0	0	0	0	3	0	0

(イ) プレコンセプションケアの普及啓発

プレコンセプションケアに対する相談について、媒体の配布等、普及啓発を行った。

普及啓発先	内 容	実績		
管内中学校、施設等	ポスター、カードを配布	チラシ	学生向け	52
			成人向け	52
		カード	学生向け	1,151
			成人向け	591

イ-1 思春期セミナー

小・中・高校の教職員等を対象に、大和・綾瀬学校保健協議会との共催で講演会を実施した。

開催年月日・会場	内 容	講 師	参加数
令和7年1月20日 オンライン	困難な環境を生き抜いてきた子どもの成長を支える	地方独立行政法人神奈川県立病院機構 神奈川県立精神医療センター コ・メディカル部長 青山久美氏	19

イ-2 思春期セミナー（出張講座）

思春期の生徒に対して講師を派遣し、望まない妊娠の予防等を目的とした講演を実施した。

開催年月日	会 場	講 師	参加数
令和7年2月27日	綾瀬市立綾北中学校	林間クリニック 医師 南淵芳	222
令和7年3月3日	綾瀬市立綾瀬中学校	林間クリニック 医師 南淵芳	188
令和7年3月6日	綾瀬市立城山中学校	当所 保健師	170
令和7年3月6日	綾瀬市立北の台中学校	当所 保健師	105

ウ 性と健康の健康教育

男女問わず、性と妊娠に関する正しい知識の普及を図るため、健康教育を実施した。

開催年月日	会場	対象	内 容	参加数
令和6年4月19日	大和センター	保健所実習生	大切なあなたのからだ	48
令和6年9月6日	大和センター	保健所実習生	大切なあなたのからだ	24
令和7年2月19日	南林間中学校	学校教諭	異性とのかかわりかたについて	12

(5) 望まない妊娠等に関する相談事業 (妊娠 SOS かながわ)

望まない妊娠に対する相談について、媒体の配布等、普及啓発を行った。

ア 妊娠 SOS かながわ普及啓発

普及啓発先	内 容	実績	
管内中学校、施設等	ポスター、カードを配布	ポスター	
		50	
		チラシ	学生向け
			52
		カード	成人向け
			52
			学生向け
			1,151
			成人向け
			591

(6) 妊娠期からの児童虐待予防支援事業

児童虐待予防の体制整備のため、妊娠期養育支援連絡票の活用の状況の確認と、医療機関との連絡会を開催した。

ア 妊娠期養育支援連絡票及び養育支援結果報告票の進行管理 (令和 5 年度)

	大和市	綾瀬市	合計
妊娠期養育支援連絡票	422	45	467

イ 医療機関との連絡会

医療機関と行政が効果的に連携を図るために、産科医療機関と連絡会を開催した。

開催年月日・会場	議 題	出席数
令和 6 年 7 月 22 日 大和センター・ オンライン併用	1 行政と産科医療機関との連携について 2 その他 意見交換	9

ウ 研修会及び事例検討会

開催年月日・会場	対 象	内 容	講 師	参加数
令和 6 年 9 月 5 日 大和センター	看護学生	SBS(乳幼児揺さぶられ 症候群)の予防について	当所 保健師	20

(7) 養育支援事業

発達や発育等の障害や疾病を持ち、長期に療養を必要とする児及びその保護者等が地域で健康的な生活をするために、医療・福祉・教育等の関係機関と連携し、支援を行った。

ア 訪問指導

	小児慢性特定疾病 対象児
実数	18
延数	41

イ 集団指導

(ア) 疾病・障害児等の家族会

開催年月日	教室名	内 容	参加者	
			保護者	支援者
令和6年 6月24日 オンライン	医療的ケア児 の家族交流会	・自己紹介、近況報告 ・リハビリ等について ・気持ちの持ち方について ・外出について ・今後の開催方法、日時等の希望について	3	4
令和6年 9月3日 オンライン併用	医療的ケア児 の家族交流会	・自己紹介 ・仕事との両立について ・災害時の備えについて	4	11
令和6年 12月5日 オンライン	医療的ケア児 の家族交流会	・自己紹介、近況報告 ・自分の癒しの時間の過ごし方 ・訪問看護師への質問 ・次年度について	4	10

ウ 養育困難事例検討会（再掲 5 妊娠期からの虐待予防支援事業）

開催年月日・会場	対 象	内 容	講 師	参加数
令和6年 10月31日 大和センター	管内母子保健及び要 保護児童対策地域協 議会担当保健師等	メンタル面で課題を抱 えている妊産婦と親へ の支援 ～事例検討から学ぶ～	相州病院 医師 寺岡菜穂子	10
令和7年 1月23日 大和センター	管内の分娩施設を有 する産婦人科5か所 の助産師等 管内母子保健及び要 保護児童対策地域協 議会担当保健師等	メンタル面で課題を抱 えている妊産婦の支援 と愛着形成の捉え方 ～事例検討から学ぶ～	相州病院 医師 寺岡菜穂子	10

エ 養育体制整備（研修）（厚木保健福祉事務所及びかながわ医療的ケア児支援センター・県央圏域相談センターとの合同開催）

開催年月日・会場	名 称	内 容	講師	参加数
令和6年 8月23日 オンライン	医療的ケア児 等の在宅療養 支援推進研修	医療的ケア児の 受け入れの現状 と課題	訪問看護ステーション もみじ 所長(医療的ケア 児等コーディネーター) 今堀亜紀	77
令和6年 10月30日 神奈川工科大学 KAIT TOWN 「市民・eスポーツホール」・ オンライン併用	医療的ケア児 等の在宅療養 支援推進研修	医療的ケアのある お子さんの防 災対策・災害時 の電源確保につ いて	当事者・家族 横浜重症心身障害児グル ープ連絡会～ぱざぱネッ ト～ 渡邊聡美 神奈川工科大学 臨床工学科 特任教授 山家敏彦	90

オ 養育体制整備（個別支援）

	大和市	綾瀬市	合計
作成数	3	2	5

カ 小児慢性特定疾病講演会

開催年月日・会場	名 称	内 容	講師	参加数
令和6年 10月26日 オンライン	小児慢性特定 疾病講演会	子どもの炎症性腸疾患(潰瘍性大腸炎とクローン病)の治療と上手な付き合い方	国立成育医療研究センター 小児内科系専門診療部消化器科診療部長 小児炎症性腸疾患センター センター長 新井勝大	12

2 健康づくり・がん対策

（１）がん検診普及啓発セミナー事業

「神奈川県がん対策推進計画」を踏まえ、管内のがん検診受診率の向上を目指し、市町村、関係団体等と協働し、地域のニーズに応じた「がん検診普及セミナー」を実施した。

また、学生や窓口来所者等に、がん検診普及啓発リーフレットを配布し、がん検診受診の必要性について周知した。

大和スポーツフェスタで大腸がんクイズラリーを実施

大腸がんクイズラリー実施数 216 件

がん検診リーフレット配布数 60 部

（２）地域企業におけるがん検診受診促進事業

がん検診受診率の向上を目指し、介護保険指定事業者等指導や特定給食施設指導事業等の開催に併せ、がん検診受診促進リーフレット並びに近郊市町村のがん検診受検内容や窓口についてのチラシを配布し、従業員やその家族の受診促進を図った。また、管内の企業に出向き、医師による健康講話を実施、あわせてリーフレットを配布した。

リーフレット配布 68 施設、574 部

管内企業での健康教育 参加者 59 名、リーフレット配布 27 部

(3) 健康増進事業の自己評価及び糖尿病重症化予防事業市町村支援

市健康増進事業及び糖尿病重症化予防事業について、評価表に基づき前年度の実施状況を確認した。

ア 健康増進事業の自己評価に係るヒアリング

開催年月日	内 容	出席者
令和 6 年 7 月 1 日	令和 6 年度健康増進事業の自己評価に係るヒアリングを実施	大和市保健師・管理栄養士 当センター 保健師・管理栄養士
令和 6 年 7 月 3 日	令和 6 年度健康増進事業の自己評価に係るヒアリングを実施	綾瀬市保健師・管理栄養士 当センター 保健師・管理栄養士

イ 糖尿病重症化予防事業に係るヒアリング

開催年月日	内 容	出席者
令和 6 年 7 月 1 日	令和 6 年度の実施結果及び事業評価、今後の取組について	大和市保健師・管理栄養士 当センター 保健師・管理栄養士
令和 6 年 7 月 3 日	令和 6 年度の実施結果及び事業評価、今後の取組について	綾瀬市保健師・管理栄養士 当センター 保健師・管理栄養士

(4) 国保保健事業市町村支援、健康づくりのためのデータ活用事業

保健医療データなどを活用し、県と市が連携して地域課題の分析や評価を行うことで、市が行う健康づくり事業について、より効果的な事業展開になるよう支援するとともに、未病改善、健康づくり施策のさらなる推進をはかるため「地区別研修」を実施した。

ア 地区別研修

開催年月日	内 容	講 師	参加数
令和 6 年 8 月 7 日	ナッジを活用した保健指導	いのち・未来戦略本部室職員	2

3 歯科保健

(1) 歯及び口腔の健康づくり推進委員会

神奈川県歯及び口腔の健康づくり推進条例に基づき、厚木保健福祉事務所大和センター管内の歯及び口腔の健康づくりにかかる事項について、関係者が協議、意見交換することにより、管内における歯及び口腔の健康づくりに関する事業の効果的かつ円滑な推進を図る。

ア 歯及び口腔の健康づくり推進委員会

開催年月日 会場	内 容	出席数
令和7年 1月30日 大和センター	1 議題 (1) 委員長選出 (2) 令和7年度大和センター歯科保健の取組について 2 報告 (1) 令和6年度大和センター歯科保健事業について (2) 大和センター管内における歯科保健・医療事業実施状況について (3) 神奈川県域市町村別3歳児歯科健診結果(令和元年～令和5年度) 3 その他 (1) 神奈川県歯及び口腔の健康づくり推進計画(第2次)について	12

イ 歯及び口腔の健康づくり推進委員会小委員会

開催年月日 会場	内 容	出席数
令和6年 6月7日 大和センター	1 報告 (1) 歯及び口腔の健康づくり推進委員会設置要領の改定について (2) 令和5年度歯及び口腔の健康づくり推進委員会の報告について (3) むし歯予防普及啓発リーフレットに係るアンケートの実施について 2 議題 (1) 訪問歯科保健指導のモデル試行について 3 その他 (1) 今後の予定について	6
令和6年 11月29日 大和センター	1 報告 (1) 令和6年度生活困窮家庭(生活保護世帯)幼児等の歯科保健の取組状況について 2 議題 (1) 令和6年度生活困窮家庭(生活保護世帯)幼児等の歯科保健の取組評価について (2) 令和7年度以降の生活困窮家庭(生活保護世帯)幼児等の歯科保健の取組について(資料3) 3 その他 (1) 今後の予定について	5

(2) 重度う蝕ハイリスク幼児予防対策事業 (継続歯科検診)

重度う蝕児の減少を図ることを目的に、市の幼児歯科健診事業等と連携をとり、重度う蝕につながるリスク要因を保有している幼児を対象に、継続的な歯科検診、保健指導及び予防処置を行った。

歯科検診・予防処置等の実施状況

開設回数	受診者数			予防処置者数（延）			
	初診数	再診数	総数	フッ化物	フッ化ジアンミン銀		総数
70	90	345	435	405	3 歯まで	4 歯以上	446
					21	20	

初診の状況

把握事業名		初診者数	紹介事由									受診結果					
			う蝕の状況				生活習慣等から見たリスク要因 (複数計上)					う 歯 の 精 検 結 果			対処分類		
			う 歯 あり	う 歯 注意 病 変	う 歯 な し	不 明	離 乳 完 了 の 遅 れ	リ ス ク 食 品 頻 回 摂 取	リ ス ク 飲 料 頻 回 摂 取	口 含 み 就 寝 等 の 習 慣	そ の 他	う 歯 あり	う 歯 注意 病 変	う 歯 な し	非 ハイ リ ス ク 児	リ ス ク 解 消 児	ハイ リ ス ク 児
大和市	1 歳 6 か 月 児 歯 科 健 診	49	3	6	40	0	30	11	24	0	18	6	4	39	0	1	48
	2 歳 児 歯 科 相 談	4	0	2	2	0	0	3	3	1	1	0	2	2	0	1	3
	そ の 他	3	2	0	1	0	1	0	1	0	1	2	0	1	0	0	3
綾瀬市	1 歳 6 か 月 児 歯 科 健 診	15	0	2	13	0	10	5	11	0	2	4	1	10	0	0	15
	2 歳 児 歯 科 健 診	15	0	1	14	0	2	9	9	0	4	1	4	10	0	0	15
保健福祉事務所 把握		3	0	0	3	0	1	0	0	0	3	0	1	2	0	0	3
総 数		90	6	13	71	0	44	25	45	1	31	12	9	69	0	3	87

(3) 障害児者等歯科保健事業

ア すこやか療育歯科相談

発達の遅れや慢性疾患・障がいがある乳幼児を対象に、検診、保健指導、予防処置の実施及び管理栄養士、保健師と連携して食べ方相談を行った。

歯科検診・予防処置等の実施状況

開設回数	受診者数		予防処置者数（延）			
	実人員	延人員	フッ化物	フッ化ジアンミン銀		総 数
52	54	147	75	3 歯まで	4 歯以上	78
				2	1	

実施内容内訳（延件数）

歯科検診	歯科保健指導	摂食相談	栄養士相談	保健師相談
147	146	41	12	8

イ 摂食機能発達支援研修（食べる機能の講習会）

摂食機能の発達支援の理解を深め、関係機関との連携強化をはかることを目的に、保育所職員等を対象に「食べる機能の講習会」開催した。

開催年月日 会 場	内 容	講 師	参加数
令和 6 年 6 月 13 日 大和センター	子どもの食べる機能の発達と支援	昭和大学歯学部口腔衛生学講座 講師 石崎 晶子	23
令和 6 年 8 月 15 日～ 9 月 13 日 オンデマンド 開催	子どもの偏食対応と食育 ～ 家庭や施設でできる工夫 ～	ハッピー食卓プラネット代表 講師 管理栄養士 小林 浩子	124

（４）在宅療養者等訪問口腔ケア推進事業

在宅で療養する障害児等の訪問による歯科検診、食べ方相談等を行った。

実施回数	訪問数（延数）
30	33

（５）歯周病予防対策事業

歯周病予防に効果的な歯間部清掃用具の正しい使用方法等について実技指導を行った。

実施回数	人 数
12	85

(6) 歯科保健普及啓発事業

全身の健康の視点に立った口腔の健康づくりの一環として、健口かながわ 5 か条 + 3 の普及を行った。

普及対象	母 子	学童・生徒	成 人	高齢者	不 明	総 数
普及人数	249	2	181	89	896	1,397

(7) オーラルフレイル健口推進員養成事業

オーラルフレイル健口推進員（*1）の養成を動画視聴研修で行うとともに、自主的な活動を円滑に実施できるよう、育成研修を行った。

*1 オーラルフレイル予防、8020 運動をはじめとする歯及び口腔の健康づくりを推進するため、口腔機能向上等の普及啓発活動等、歯及び口腔の健康づくりを自主的に実施する者

ア 養成研修（動画視聴研修）

実施年月日 会 場	参加者 延べ人数	参加者内訳（実人数）					
		オーラルフレイル健口推進員					その他
		健康普及員	食生活改善 推進員	介護予防 サポーター	その他	小計	
令和 6 年 10 月 31 日 大和センター	12	1	2	3	5	11	1

イ 育成研修

実施回数	参加者 延べ人数	参加者内訳（実人数）					
		オーラルフレイル健口推進員					その他
		健康普及員	食生活改善 推進員	介護予防 サポーター	その他	小計	
4	64	12	7	9	7	35	0

実施年月日 会場	内 容	参加数
令和 6 年 6 月 28 日 大和センター	1 「人生 100 年時代～健康で生き生き過ごすために～」 講師 所内 医師 2 「笑う門には福来る～笑いと健口～」 講師 所内歯科医師 3 健口体操の実習 講師 所内歯科衛生士 4 オーラルフレイル健口推進員の活動練習	15
令和 6 年 9 月 11 日 大和センター	1 「栄養成分表示を活用しましょう」 講師 所内管理栄養士 2 「歯と口の健康」 講師 所内歯科医師 3 お口の健康チェック、ブラッシング実習 講師 所内歯科衛生士	20
令和 6 年 11 月 27 日 大和センター	1 受講修了書授与 2 「健口体操の意義と効果」 講師 所内歯科医師 3 健口体操の実習 講師 所内歯科衛生士 4 先輩オーラルフレイル健口推進員の実演披露 5 媒体作成（舌体操）	9
令和 7 年 2 月 21 日 大和センター	1 お口の健康チェック 2 講義と実技 「身体と口を動かして健康づくり！」 講師 健康運動指導士 原眞奈美 3 活動実演会～私の健口体操普及方法～	23

ウ 支援体制の整備（活動支援）

回 数	内 容	人 数
4	実施方法助言等	10

(8) フッ化物洗口普及啓発事業

永久歯のう蝕予防対策、高齢者の根面う蝕の予防対策として効果的なフッ化物洗口を普及させるため、関係機関と連携し、家庭内フッ化物洗口の情報普及を図った。

回 数	人 数
3	102

(9) 災害時歯科口腔保健対応対策事業

災害時の地域歯科口腔保健に係る体制づくりを促進するため、検討会を開催した。

開催年月日 会 場	内 容	参加数
令和 6 年 10 月 30 日 大和センター	1 本検討会の主旨 2 議題 (1) 災害時の歯科・摂食関連の備蓄品の充実について (2) 災害時の歯科・摂食関連の備蓄に関する普及啓発について 3 その他	8

(10) 人材育成

歯科衛生士学校実習生指導及び地域歯科衛生士会の活動支援を行うとともに、保健、医療、福祉の関係者等を対象に研修会を実施した。

ア 歯科衛生士学生実習指導

実施日数	人 数
2	6

イ 大和綾瀬地域歯科衛生士会（依頼対応）

開催年月日 会 場	内 容 ・ 講 師	参加数
令和 6 年 5 月 30 日 大和センター	1 「小児に多い硬組織疾患」 講師 当所歯科医師 2 「乳幼児歯科保健指導の手引きについて」 講師 当所歯科衛生士 3 グループワーク	10
令和 6 年 10 月 31 日 大和センター	1 「感染症心内膜炎」 講師 当所医師 2 大和センターからの伝達事項	10

ウ 管内市職員研修会

生活困窮家庭児の歯及び口腔の健康づくりを推進するため、市の生活保護担当部署職員を対象に歯と口腔の健康に関する研修会を行った。

開催年月日 会 場	参加数
令和 6 年 7 月 24 日 大和市保健福祉センター	26
令和 6 年 7 月 31 日 綾瀬市役所	4

エ 関係機関・団体（依頼対応）

実施年月日 会 場	内 容	人 数
令和 6 年 10 月 31 日 大和センター	難病従事者研修会 講師 当所歯科医師	21
令和 6 年 10 月 9 日 中井やまゆり園	県立福祉施設栄養士会講習会 講師 当所歯科医師	13

（11）健康教育

関係機関・地域からの依頼により健康教育を実施した。

ア 大和綾瀬地域児童相談所

開催年月日	内 容	参加数
令和 6 年 5 月 29 日	1 むし歯の原因について 2 フッ化物配合歯磨剤の使い方 3 飲み物に含まれる砂糖 4 歯みがきの方法・歯みがき実習	児童・生徒 27 職員 5 計 32
令和 6 年 7 月 24 日	1 クイズ「歯と口、飲み物に含まれる砂糖について」 2 歯並びに悪い癖 3 むし歯・歯肉炎の原因について 4 フッ化物配合歯磨剤の使い方 5 歯みがきの方法・歯みがき実習	幼児 4 児童・生徒 26 職員 7 計 37
令和 6 年 11 月 13 日	1 クイズ「ひみこの歯がいーぜ」 2 むし歯・歯肉炎の原因について 3 フッ化物配合歯磨剤の使い方 4 歯みがきの方法・歯みがき実習	幼児 4 児童・生徒 25 職員 8 計 37
令和 7 年 1 月 15 日	1 クイズ「動物の歯について」、歯並びに悪い癖 2 むし歯・歯肉炎の原因について 3 フッ化物配合歯磨剤の使い方 4 食べ物・飲み物に含まれる砂糖 5 口腔観察 6 歯みがきの方法・歯みがき実習 幼児クラス：保育士への個別相談・指導	幼児 3 児童・生徒 27 職員 7 計 37

イ 関係機関・地域

実施年月日 会 場	対 象	内 容	人 数
令和 6 年 5 月 22 日 草柳自治会館	草柳自治会 S Y ダイヤモンドサロン	歯と口の健康について	19
令和 6 年 8 月 2 日 大和市渋谷学習センター	青い鳥の会（大和綾瀬地域のダウン症親の会）	1 ダウン症児のお口の特性に関する こと、摂食について 2 歯みがき実習	親 6 子 7 計 13
令和 6 年 11 月 13 日 大和センター	難病リハビリ教室	飲み込みを良くするためのリハビリ	14

（12）その他歯科検診・歯科相談等

電話や来所による歯科検診、相談等を実施した。

実施回数	実施数
8	8

（13）歯及び口腔の健康づくりに係る重点取組

むし歯リスクが高い乳幼児や障がい等のある児をもれなく支援できるよう、関係機関との連携体制の充実及び養育力が脆弱等により口腔衛生習慣の定着が困難であったり、むし歯の多発や未治療が生じやすいなど、歯科的ハイリスクになりやすい児（生活困窮家庭幼児）の歯及び口腔の健康づくりを推進した。

ア 重度う蝕ハイリスク幼児の取組

文化・生活習慣が異なる外国にルーツのある幼児のむし歯予防を図るため、大和市国際化協会との情報交換を行った。

実施日：令和 6 年 4 月 25 日

イ 障害児、慢性疾患児の歯科保健の取組

摂食機能発達支援を円滑に行えるよう、ダウン症児の会「青い鳥の会」及び療育機関と情報交換を行った。

実施年月日	機関名
令和 6 年 4 月 30 日	大和市・綾瀬市ダウン症児をもつ親の会 青い鳥の会
令和 6 年 5 月 2 日	大和市障害福祉センター 松風園
令和 6 年 5 月 31 日	綾瀬市児童発達支援センター もみの木園

ウ 生活困窮家庭（生活保護世帯）幼児等の歯科保健の取組

(ア) むし歯予防リーフレットの生活保護受給者への配付

大和市	綾瀬市	合 計
3,986 枚	680 枚	4,666 枚

(イ) リーフレット配付者を対象に、歯科保健の意識、行動変容に関するアンケートの実施

回答数：15 人

(ロ) 管内市の生活保護部署職員を対象に歯科保健研修会の実施

* 人材育成欄に掲載

(ハ) 「【ケースワーカー等職員用】確認事項と助言・対応」に関するアンケートの実施

大和市	綾瀬市	管内計
30	3	33

(ニ) 生活保護法における指定医療機関（歯科診療所）への取組周知

周知件数 131歯科診療所

(ホ) 訪問歯科保健指導

管内市の協力の下、生活保護受給世帯の児童を対象に、訪問歯科保健指導をモデル試行した。

	訪問回数	訪問人数（実）
大和市	3	6（2）
綾瀬市	3	10（4）

エ 被虐待児及び児童相談所入所児の歯科保健の取組

* 健康教育欄に掲載

4 栄養・食生活

(1) 給食施設等指導

ア 特定給食等指導事業

健康増進法等に基づき、給食施設に対して栄養管理の実施について必要な助言、指導を行うとともに、給食利用者及び従業員の健康の保持・増進及び生活習慣病予防の推進、健康・栄養教育等の支援を行い、給食を通じた地域の健康づくりを推進した。

(ア) 給食施設個別指導

給食施設に対し、健康増進法第18条第1項第2号に基づき個別に指導、助言を行った。

			管理栄養士のみの 施設		管理栄養士・栄養士 どちらもいる施設		栄養士のみの 施設		管理栄養士・栄養士 どちらもいない施設	
			施設数	指導件数	施設数	指導件数	施設数	指導件数	施設数	指導件数
指 定 施 設	学 校	01	0	0	0	0	0	0	0	0
	病 院	02	1	1	0	0	0	0	0	0
	介護老人保健施設	03	0	0	0	0	0	0	0	0
	介護医療院	20	0	0	0	0	0	0	0	0
	老人福祉施設	04	0	0	0	0	0	0	0	0
	児童福祉施設	05	0	0	0	0	0	0	0	0
	社会福祉施設	06	0	0	0	0	0	0	0	0
	事 業 所	07	0	0	0	0	0	0	0	0
	寄 宿 舎	08	0	0	0	0	0	0	0	0
	矯正施設	09	0	0	0	0	0	0	0	0
	自衛隊	10	1	1	0	0	0	0	0	0
	一般給食センター	11	0	0	0	0	0	0	0	0
	そ の 他	12	0	0	0	0	0	0	0	0
	計		2	2	0	0	0	0	0	0
1回300 食以上 又は1 日750 食以上 (指定 施設 を除 く)	学 校	01	8	8	4	4	1	1	0	0
	病 院	02	1	1	0	0	0	0	0	0
	介護老人保健施設	03	0	0	0	0	0	0	0	0
	介護医療院	20	0	0	0	0	0	0	0	0
	老人福祉施設	04	0	0	0	0	0	0	0	0
	児童福祉施設	05	0	0	0	0	0	0	0	0
	社会福祉施設	06	0	0	0	0	0	0	0	0
	事 業 所	07	0	0	0	0	1	1	2	0
	寄 宿 舎	08	0	0	0	0	0	0	0	0
	矯正施設	09	0	0	0	0	0	0	0	0
	自衛隊	10	0	0	0	0	0	0	0	0
	一般給食センター	11	0	0	0	0	0	0	0	0
	そ の 他	12	0	0	0	0	0	0	0	0
	計		9	9	4	4	2	2	2	0
1回100 食以上 又は1 日250 食以上 (、 を除 く)	学 校	01	0	0	0	0	0	0	2	3
	病 院	02	0	0	7	7	0	0	0	0
	介護老人保健施設	03	2	1	3	1	0	0	0	0
	介護医療院	20	0	0	0	0	0	0	0	0
	老人福祉施設	04	5	3	7	1	0	0	0	0
	児童福祉施設	05	5	2	1	1	15	13	1	1

	社会福祉施設	06	0	0	0	0	0	0	1	1
	事業所	07	2	0	0	0	2	1	14	8
	寄 宿 舎	08	0	0	0	0	0	0	0	0
	矯正施設	09	0	0	0	0	0	0	0	0
	自衛隊	10	0	0	0	0	0	0	0	0
	一般給食センター	11	0	0	0	0	0	0	0	0
	そ の 他	12	0	0	0	0	0	0	0	0
	計		14	6	18	10	17	14	18	13
その他の給食施設	学 校	01	0	0	0	0	0	0	0	0
	病 院	02	1	1	0	0	0	0	0	0
	介護老人保健施設	03	0	0	1	1	0	0	0	0
	介護医療院	20	0	0	0	0	0	0	0	0
	老人福祉施設	04	2	1	1	0	0	0	2	0
	児童福祉施設	05	12	6	6	4	25	14	8	5
	社会福祉施設	06	2	1	2	0	1	0	4	5
	事業所	07	2	1	0	0	1	1	9	2
	寄 宿 舎	08	0	0	0	0	0	0	0	0
	矯正施設	09	0	0	0	0	0	0	0	0
	自衛隊	10	0	0	0	0	0	0	0	0
	一般給食センター	11	0	0	0	0	0	0	0	0
	そ の 他	12	2	0	1	0	4	3	20	3
	計		21	10	11	5	31	18	43	15

(イ) 給食施設講習会・種別講習会

給食施設の従事者及び管理者等に対し、講習会を実施し栄養管理の向上を図った。

区分	開催年月日	内 容	講 師	参 加 施設数	参 加 者 数
全体講習会	令和6年 9月19日 大和市保健福祉センター	「給食施設の衛生管理 (食中毒予防)」 「給食施設栄養管理報 告書の目的と記入」	大和センター 食品衛生監視員 管理栄養士	114	132
全体講習会	令和7年 2月4日～3月7日 オンデマンド開催	「日本人の食事 摂取 基準(2025年版)」 の活用	女子栄養大学 栄養学部 教授 上西一弘	51	83
種別講習会	令和6年 8月15日～9月13日 オンデマンド開催	子どもの偏食対応と 食育	ハッピー食卓プラネット 代表 小林浩子	32	85
種別講習会	令和7年 3月4日 大和センター オンライン併用	居宅療養者の「食」と 「生活」を支える ～介護支援専門員と管 理栄養士の連携から 実現できること～	南大和病院栄養科長 依田理恵子	13	16
種別講習会	令和7年 3月7日～3月25日 オンデマンド開催	災害発生時等に備える ～施設の状況に合わせ た対策を考えるため に～	・県央地域県政総合センター 総務部県民・防災課 職員 ・東京電力パワーグリッド株式会 社 平塚支社次長 時松誠 ・企業庁企業局総務室 総務危機管理グループ 職員 ・厚木保健福祉事務所 保健福祉課 栄養指導員	22	54
総 数				232	370

イ 栄養改善普及運動(スマイルスリー)

全事業所を対象にかながわ健康プラン21(第2次)の推進を目指し、「そろえて食べてスマイルスリー」～主食・主菜・副菜をそろえた食事～を合言葉に給食を通した健康づくりを行った。

統一標語:「そろえて食べてスマイルスリー」～主食・主菜・副菜をそろえた食事～

開催日	内容	対象施設数	参加施設数
令和6年8～12月 (ポピュレーション)	<ポピュレーションアプローチ事業所> ・健康づくりに関するポスターの周知	事業所 34施設 海上自衛隊 1施設	ポピュレーション 35施設
令和6年7月 16、23、30日 (ハイリスク)	コラボ給食(健康に配慮した食事)の提供		ハイリスク 2施設
令和6年9月27日 (ハイリスク)	講話「素敵な大人のための食育講座」		

対象施設の内2施設はハイリスク・ポピュレーションアプローチのいずれも実施

(2) 栄養・食生活施策の企画・運営

地域特性に応じた食環境づくりを推進し、地域における栄養・食生活対策の推進を図るとともに、情報の収集・整理及び提供のための国民健康・栄養調査を行った。

ア 地域食生活対策推進協議会

病院、施設、在宅を行き来する居宅要介護者の食生活について、在宅においても質を維持し、適切な栄養ケアができるように、介護支援専門員との食事や栄養情報共有ための方法を検討し、居宅要介護者の低栄養や疾病の重症化予防を目指した。

【協議会】

開催年月日	内 容	委員	出席数
令和 7 年 2 月 27 日	1 議事 (1) 会長選出 (2) 令和 7 年度計画 2 報告事項 令和 6 年度事業報告	医師会 学識経験者 地域活動栄養士の会 地域包括支援センター 在宅医療・介護連携支援センター 自治体職員	11

【実務担当者会議】

開催年月日	内 容	出席数
令和 6 年 5 月 23 日	1 報告事項 (1) 厚木保健福祉事務所大和センター保健福祉サービス連携調整 会議 地域食生活対策推進協議会実施要綱の改正 (2) 令和 6 年度地域食生活対策推進協議会の計画 (3) 「栄養サマリー・お食事連絡票」の活用状況把握のための発 行数調査 2 議事 (1) 「ケアマネの食事に関する困り事」の対応 ~あると便利 「食事に関する困った時の対応集」(仮称)の作成~ について (2) 栄養情報ツール「お食事連絡票」「栄養サマリー」の活用促進 の検討	11
令和 7 年 3 月 4 日	1 令和 6 年度事業報告 2 令和 7 年度事業計画 3 計画 1 「ケアマネの食事に関する困り事」の対応 ~あると便利「食事 に関する困った時の対応集」(仮称)の作成~ について 計画 2 栄養情報ツール「お食事連絡票」「栄養サマリー」の活用促進の検 討	9

イ 国民健康・栄養調査

対象地区	実施時期	対象世帯数 人数	調 査 内 容
大和市中心	令和 6 年 11 月	46 世帯 90 人	栄養摂取状況調査 身体状況調査 生活習慣調査

* 県民健康・栄養調査も併せて実施

(3) 市町村の支援

ア 管内行政等栄養士連絡会

栄養改善業務を円滑かつ効率的に実施するために連絡調整会議を行った。

開催月日	内 容	出席数
令和 6 年 8 月 29 日	1 かながわ健康プラン 2 1 (第 3 次) について 2 各部署の令和 6 年度事業進捗状況等について 3 令和 6 年度管理栄養士課程実習生の受け入れについて 4 食生活改善推進員の養成・育成について 等	10
令和 7 年 3 月 5 日	1 令和 6 年度事業の実施状況と次年度に向けて 2 かながわ健康プラン 2 1 (第 3 次) の推進について	6

イ 地域保健活動推進研修事業

食育及び栄養・食生活対策を推進する市町村及び関係機関・団体等の栄養士等を対象に研修を実施した。

開催年月日	内 容	講 師	参加数
令和 6 年 8 月 15 日～ 9 月 13 日 オンライン開催	子どもの偏食対応と食育	ハッピー食卓プラネット 代表 小林浩子	25

給食施設種別講習会と同時開催とした

(4) 人材育成

ア 地域活動栄養士等指導事業

地域で活動する栄養士の指導・活動支援及び県内管理栄養士養成課程の学生の指導を行った。

(ア) 地域活動栄養士指導・活動支援

区 分	開催回数	参加延人数
在宅栄養士研修	4	17
栄養士みつわ会支援	12	102

*在宅栄養士研修は再掲

(イ) 管理栄養士課程学生指導

養成施設名	コース数	学生人数	期 間
県立保健福祉大学	1	3	令和6年5月20日～4月24日
鎌倉女子大学	1	3	令和6年6月10日～6月14日
神奈川工科大学	1	3	令和6年9月9日～9月13日
関東学院大学	1	3	令和7年2月3日～2月7日
相模女子大学	1	3	令和7年2月25日～2月28日

イ 食生活改善推進員リーダーの育成

食生活改善推進団体「なごみ会」等が組織的に活動を展開できるように、リーダーの育成指導を行うとともに、資質向上のための研修会への支援を行った。

指導回数	延 人 数
26	298

(5) 専門的栄養指導・食生活支援事業

ア 専門的栄養相談

疾病を有する患者に対して、病状や生活状況に応じた個別相談を行った。

	難病	ハイリスク児	その他	計
相談件数	0	2	1	3

イ 集団講習会

開催年月日	内 容	講 師	人 数
令和6年 10月30日	「神経難病患者への効果的な支援」 ～嚥下障害へのリハビリとケア・食事のコツ～ 摂食嚥下障害～食事のとり方～	大和センター 管理栄養士	22

ウ 食生活支援担当者研修会

地域で食生活支援に係わる医療や福祉、職域等の関係者を対象に研修を行った。

開催年月日	内 容	講 師	参加数
令和7年 2月4日 ～3月7日 オンデマンド開催	日本人の食事摂取基準 (2025年版) ～改訂ポイントと給食施設におけ る活用上の留意点～	女子栄養大学 栄養学部 教授 上西 一弘	25
令和7年 3月7日 ～3月25日 オンデマンド開催	災害発生時等に備える ～施設の状況に合わせた対策を 考えるために～	・県央地域県政総合センター 総務部県民・防災課 職員 ・東京電力パワーグリッド株式会社 平塚支社次長 時松 誠 ・企業庁企業局総務室 総務危機管理グループ 職員 ・厚木保健福祉事務所 保健福祉課 栄養指導員	8
令和7年 3月4日 大和センター オンライン併用	居宅療養者の「食」と「生活」を 支える ～介護支援専門員と管理栄養士の 連携から実現できること～	南大和病院 栄養科 科長 依田 恵理子南大和クリニ ック居宅介護支援事業所	18

(6) 栄養表示等普及啓発及び活用推進事業

食品製造業者に対し、適正な栄養表示方法を指導するとともに、消費者に健康保持・増進及び生活習慣病予防を目的として、栄養表示の活用について普及・啓発を行った。

ア 普及啓発講習会

対 象	回 数	内 容	人 数
消費者	1	食生活改善推進員養成講座(大和市)	35
	1	食生活改善推進員養成講座(綾瀬市)	5
	1	オーラルフレイル推進員研修	20
総 数	3		

イ 事業者に対する表示適正化指導

		健康増進法			食品表示法			総数
		特別 用途 食品	特定 保健用 食品	虚偽 誇大 表示	栄養 成分 表示	栄養 機能 食品	機能性 表示 食品	
事前相談・指導	件数				2			2
	延回数				2			2
適正化指導 (改善指導)	件数							
	延回数							

5 小児慢性特定疾患医療費助成

対象となる疾病にかかっており、厚生労働大臣が定める疾病の程度である 18 歳未満の児童等に対し、医療費の一部を助成した。(18 歳到達時点で認定されており、引き続き治療が必要と認められる場合は、20 歳未満まで継続可能)

ア 小児慢性特定疾病医療費助成 (16 疾患群、788 疾病)

	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	
	悪性 新生 物	慢性 腎疾 患	慢性 呼吸 器疾 患	慢性 心疾 患	内分 泌疾 患	膠原 病	糖尿 病	先天 性代 謝異 常	血 液疾 患	免 疫疾 患	神 経・ 筋疾 患	慢性 消化 器疾 患	染色体 又は遺 伝子に 変化を 伴う症 候群	皮膚 疾患 群	骨系 統疾 患	脈管 系疾 患	総 数
大和市	29	6	3	30	15	6	15	6	8	1	23	20	2	2	2	2	170
綾瀬市	12	1	1	15	4	7	3	3	4	1	4	8	0	1	0	0	64
総数	41	7	4	45	19	13	18	9	12	2	27	28	2	3	2	2	234

(重複あり)

6 母子・父子・寡婦福祉資金貸付事業

母子・父子・寡婦家庭の生活安定と経済的自立の促進、児童の健全な育成を図るために必要な母子・父子・寡婦福祉資金の貸付の決定を行った。

		事業 開始	事業 継続	技能 習得	就職 支度	住宅	転宅	医療 介護	生活	修学	就学 支度	修業	結婚	総数
大和市	母子			1					1	1	3			6
	父子									1				1
	寡婦													
綾瀬市	母子			2					3	8	9	1		23
	父子									1	2			3
	寡婦													

7 介護保険

(1) 介護保険指定事業者等指導

介護保険制度の円滑な推進を図るために、管内に事業所を有する介護保険事業所のうち施設及び居宅サービスの医療系サービスが含まれる事業所に対して、厚木保健福祉事務所の実施指導に当所の専門職（保健師・栄養士）が同行し、指導を実施した。

区 分		大和市		綾瀬市		合計	
		介護	予防	介護	予防	介護	予防
居宅サービス	訪問介護						
	訪問看護	3	3			3	3
	通所介護			1		1	
	通所リハビリテーション						
	短期入所生活介護			1	1	1	1
	短期入所療養介護						
	特定施設入居者生活介護			1	1	1	1
	計	3	3	3	2	6	5
介護保険施設	介護老人福祉施設			1		1	
	介護老人保健施設						
	計			1		1	
合 計		3	3	4	2	7	5

* 担当分の事業所を計上。

.